



相馬市立中村第一中学校だより

蛍雪の功

令和7年1月24日発行

文責 高瀬 永志

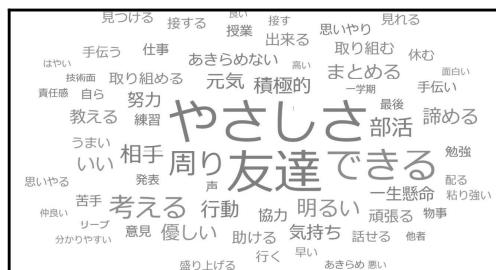
大寒が過ぎましたが、寒い日が続いています。今3年生は県立高校入試の願書を準備しているところです。桜咲く春の訪れはもう少し先です。桜は、ある一定の期間の寒さを経験することで目を覚まし、春に美しい花を咲かせます。これを「休眠打破」といいます。暖かい春、希望の春の象徴とも言える桜ですが、花の芽が眠りから覚めて花を咲かせるためにはこの冬の寒さが絶対必要なのです。私たちも、がんばっていてもなかなか進歩しない、上達しない時期があっても、それは**成功のために必要な冬の時期**ととらえ、結果が出るまで**あきらめず努力を継続**していくことをこの「休眠打破」の言葉から教えられます



自分のよさについて

2学期末に重点目標「自分のよさを見つけ、ともに伸ばそう」についてアンケートを行い、目標の達成度を検証しました。よいところを見つけられた子どもの割合は**75%**と、1学期末から5%アップしました。どんな場面で見つけたかは、部活動が1番多く、よさを見つけるきっかけになったのは、友だちからが1番多いという結果でした。どんなよさが見つかったという問いに一番多かったのは、「やさしい」その他には「思いやりがある」「友だちを大切にする」「相手の気持ちを考える」など、友人関係を大切にするとところが一中生のよさだとわかります。

今後も継続して、子ども達自身が、授業や諸活動の中で自分のよさを見つけていってほしいと願います。そのために先生方もよさを見つける視点を大切にして支援をしていきます。ご家庭でもお子さんのよさを見つけて、さりげなく指摘していきましょう。



全校生の「見つけた自分のよさ」の回答全文をAIで分析。より多く使われた単語がより大きく表示されています。

常に備えて

17日には**緊急地震速報訓練**を行いました。地震から命を守るために（モノが）「落ちてこない」「倒れてこない」「移動してこない」場所に瞬時に避難することを何度も何度も訓練しています。今年は、阪神淡路大震災から30年ということで、関連の報道も多く目にします。年月がたっても癒えない悲しみは、震災を経験した私たちは深く共感させられます。地震国である日本ですから、被害をできる限り避けるための防災、減災の知識が必須です。災害が起きたときの家族の約束事を決めておいたり、防災グッズを準備したり、できる備えをしておきましょう。



みんなの善意を送りました

21日に本校の**赤い羽根共同募金**を手渡すために、社会福祉協議会の職員の方にお越しいただきました。代表委員長（JRC）の3年石突さんが、「困っている方々の助けになるように、全校で集めました」というメッセージを伝えるとともに、集まった募金を託しました。募金額は**13,408円**でした。みなさんのご協力ありがとうございました。



来週の予定

- 1月27日（月）校内研修日 短縮日課 部活動なし
- 28日（火）オリエンタルモーター出張実験授業2年1組2組
- 29日（水）PTAあいさつ運動7:30～ ノー部活デー
- 30日（木）オリエンタルモーター出張実験授業2年3組4組
実力テスト3年

3 1 日（金）漢字検定（希望者）